

- 今日の私の立ち位置： 潜在的には強い関心はあるが、遠目でみている人は多数

コメント・メモ
当日お話を聞きながら作成
したものです

- 「いつの間にか福島ローカルの問題に」..... 社会の平穏を取り戻す, 風評被害対策
 - それを本来の位置づけへ..... ALL福島? →ALL日本
- 福島のこの10年: 未知・未経験の事象に対する正解が見えない中での模索
 - 既知の事象を前提とした既存のものの援用・適用 × 外から持ち込まれたもの
+ 今の資源で協働で何とかする力(ブリコラージュ(⇔エンジニアリング・プランニング))
 - 課題山積したまま...
 - 「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」, 基本的人権 ⇔ 関連死・自殺, , , , , ,
- 復興は折り合いをつけるプランニング, しかし福島は折り合いがつかない世界
 - 時間スケールのずれ
 - 人生スケール×計画・事業スケール×放射性物質半減期スケール・廃炉スケール
 - 人生の連続性×環境の不連続性
 - 重なり無し ※一般災害では重なり有り
 - 人間復興×空間復興 (※災害復興学会)
 - 「場」を喪失したままでの生活再建, 折り合いつけようがない
 - 戻る力×変わる力(先取り・適応)
 - 戻る力≪変わる力(先取り・適応) ※一般大災害: 戻る力≫変わる力(先取り・適応)
- 都市計画分野での議論の余地・可能性
 - 多様な空間スケール・時間スケールの議論が可能である(貢献できるかどうかはさておき)
 - 国土計画, 都市計画, コミュニティ, 世帯(人生の計画) ⇔ 一方で, 都市計画分野の限界は明らか
 - 10年・25年・50年・100年
(高齢者の余命スケール・子供の人生スケール・孫の人生スケール)
- 正しく現状を理解し, そして心で感じる事が重要

「発明」が必要

分野横断的な場が不可欠